

## 施策名：豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	生活環境企画課	2 / 9
おおいたジオパーク推進事業	生活環境企画課	3 / 9
中山間地域等直接支払事業	農山漁村・担い手支援課	4 / 9
農業農村多面的機能支払事業	農村整備計画課	5 / 9
(公)港湾環境整備事業	港湾課	6 / 9
都市政策推進費	都市計画課	7 / 9
県営都市公園施設整備事業	公園・生活排水課	8 / 9
県営都市公園里山利活用推進事業	公園・生活排水課	9 / 9

事業名	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業		事業期間	平成 22 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進～
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	生活環境企画課	評価者	生活環境企画課長 山本 章子

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	現代は「第6の大量絶滅時代」と言われ、生物多様性の危機が進行しているが、「生物多様性」という概念が県民に浸透していない。	事業の目的	県内の生物多様性を保全するとともに、県民に生物多様性の重要性を理解してもらう。
-------	--------------------------------------------------------------	-------	-----------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
奥山地域植生調査	日豊海岸国立公園内の植生調査とシカ食害防止の検討 委託先：大分県植物研究会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅危惧種保護活動業務を環境保全団体に委託</li> <li>・外来生物駆除活動業務を環境保全団体に委託</li> <li>・アライグマ実態調査業務を環境保全団体に委託</li> </ul>	総コスト	26,451	26,400	28,127
絶滅危惧種対策	指定希少野生動植物等の保護活動の実施 委託先：水辺に遊ぶ会 ほか5団体		事業費	6,451	6,400	8,127
外来生物対策	特定外来生物の駆除活動の実施 委託先：九重の自然を守る会・郷土日田の自然調査会 アライグマ実態調査事業の実施 委託先：NPO法人おおいた環境保全フォーラム		(うち一般財源)	729	1,698	2,617
			人件費	20,000	20,000	20,000
			職員数 (人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
	大分県自然公園指導員数 (人)	目標値		66	68	70		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然公園指導員の高齢化等に対応するための適切な人材の確保</li> <li>・絶滅危惧種の保護活動をより幅広い種を対象に実施</li> </ul>
実績値			73	78					
達成率			110.6%	114.7%					
絶滅危惧種保護活動事業実施団体数 (団体数・累積)		目標値		10	15	20			
		実績値		10	16				
		達成率		100.0%	106.7%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	アライグマ防除計画 確認済み市町村数	目標値		12	14	17		<b>a</b>
実績値			12	14				
達成率			100.0%	100.0%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全団体等との協働により、希少野生動植物の保護や特定外来生物の駆除等、生物多様性の保全活動を実施</li> <li>・生物多様性の重要性について理解を促進するため、県民参加による「いきものウォッチング」を開催</li> </ul>				

事業名	おおいたジオパーク推進事業		事業期間	平成 23 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進～
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	生活環境企画課	評価者	生活環境企画課長 山本 章子

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	学術研究の充実や情報発信の強化、ガイドの養成・スキルアップへの対応等、日本ジオパーク認定の際に助言された課題の解決及び平成29年度の再認定審査に向けた体制や基盤整備が課題となっている。	事業の目的	本県に多数存在する学術的価値が高い貴重な地形・地質遺産を地域資源として活用するジオパーク活動を持続可能な取組とし、地域の活性化を図る。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------	-------	---------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
情報発信事業	雑誌記者対象のモニターツアーを実施し、集約した意見の活用及び雑誌掲載による情報の発信(6誌6名参加) 委託先：(公社)ツーリズムおおいた 県内の希少な動植物についての文化財的価値を検討 委託先：九州建設コンサルタント(株) おおいたジオパーク推進事業補助金：ジオシンポジウムの開催、啓発資料の作成、ガイドのスキルアップ、教育・学習活動の充実、拠点施設・解説板等整備(6,000千円)	・モニターツアーの開催を民間業者に委託	総コスト	64,863	38,004	40,000
地域資源の調査			事業費	44,863	18,004	20,000
推進協議会等への助成			(うち一般財源)	15,863		
			人件費	20,000	20,000	20,000
			職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
ジオシンポジウム等開催(回)		目標値	3	2	3		<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両地域と連携したジオパーク活動の充実・強化</li> <li>シンポジウムの内容・あり方等多様な企画の検討・支援</li> <li>ガイドの養成やスキルアップ、ガイド組織等受入体制の整備</li> </ul>	
		実績値	3	2					
		達成率	100.0%	100.0%					
ジオガイド養成講座開催(回)		目標値		20	28				
		実績値		28					
		達成率		140.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
ジオガイドの活動数(延回)		目標値		12	30		<b>a</b>	様々な情報発信等により本県のジオパークが認知されつつあり、ジオガイドの活動も増加が期待される。	
		実績値		15					
		達成率		125.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・ 姫島村と豊後大野市のジオパーク活動を持続可能なものとするため、学術研究の支援や両地域が行う受入体制整備等の支援を実施 ・ 学術研究者や地質愛好家等にジオパークの魅力を間断なく情報発信				

事業名	中山間地域等直接支払事業		事業期間	平成 12 年度～平成 31 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	農山漁村・担い手支援課		評価者	農山漁村・担い手支援課長 森本 亨

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	中山間地域等では平地に比べ農業生産条件が不利な地域が多いことから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等により、農業生産活動の低下だけでなく、水源かん養、洪水防止等多面的機能の低下が懸念されている。	事業の目的	中山間地域等において、農業生産活動等を行う農業者等に対し直接支払を実施することにより、耕作放棄地の発生防止や農地の保全を図るとともに、将来にわたって持続可能な農業生産活動の維持・増進を図る。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
中山間地域等直接支払交付金	市町村への直接支払交付金の交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村担当者会議にて国の制度の改正点、留意事項を説明するとともに、事業推進のための指導・助言を実施</li> <li>・抽出検査を強化し、現場への指導・助成を実施</li> <li>・第三者委員会による評価・提言を活かした指導・助言の実施</li> </ul>	総コスト	1,868,289	1,885,911	2,066,467
中山間地域等直接支払県推進交付金事業	市町村担当者会議の開催(2回) 市町村に対する抽出検査の実施(13市町) 市町村に対する現場指導の実施(8市町：抽出検査と重複する市町あり)		事業費	1,823,289	1,840,911	2,021,467
中山間地域等直接支払市町村推進交付金事業	学識経験者等で組織する第三者委員会を開催(2回) 市町村の直接支払の推進に要する経費への助成		(うち一般財源)	613,264	618,413	679,809
			人件費	45,000	45,000	45,000
			職員数(人)	4.50	4.50	4.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(31年度)	評価	今後の課題	
								・抽出検査等による対象全市町への市町村事務指導の実施	
	市町村事務指導数(市町)	目標値	17	17	17	17	<b>a</b>		
		実績値	16	15					
		達成率	94.1%	88.2%					
	市町村説明会開催回数(回)	目標値	1	1	1	1			
		実績値	1	2					
		達成率	100.0%	200.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果	
								姫島村を除く県内17市町が実施し、1,175の集落協定と28の個別協定が締結され、16,065haの農用地を対象に各組織で農地の保全活動に取り組み、耕作放棄地の発生防止が図られた。また、集落営農組織の育成や、都市住民との交流等の多彩な取り組みが行われ、地域の活性化が図られた。	
	集落協定締結面積累計(ha)	目標値	16,000	16,050	16,100	16,100	<b>a</b>		
		実績値	15,866	16,065					
		達成率	99.2%	100.1%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の発生防止と農地保全のための所要額の確保による協定締結の推進、「おおいた農山漁村活性化戦略2005」の平成27年度目標達成、及び平成31年度までの維持</li> <li>・27年度から5年間の第4期対策が開始されることから、より効果的な事業執行に向けた振興局や市町との連携及び調整を一層推進</li> <li>・抽出検査等、対象全市町の指導・助言の強化</li> </ul>				

事業名	農業農村多面的機能支払事業（旧農地・水・環境保全向上対策事業）		事業期間	平成 19 年度～平成 31 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	農村整備計画課		評価者	農村整備計画課長 石井 敏

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。また、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保安全管理に対する担い手の負担の増加が懸念されている。	事業の目的	集落・自治会等といった共同管理の場所を農業者や地域住民等で構成される活動組織により、農地が農地として維持され、将来にわたって多面的機能が十分に発揮されることを確保するとともに、規模拡大に取り組み担い手の負担を軽減し、農地集積の向上を後押しする。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
農業農村多面的機能支払事業	活動計画書に基づき、農業農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を行う活動組織に対して、農地・水・環境保全活動地域協議会を通じて支援 実施組織：665組織 実施面積：20,514ha	・市町村担当者会議にて国の制度の改正点、留意事項を説明するとともに、事業推進のための指導・助言を実施 ・抽出検査を強化し、現場への指導・助成を実施 ・第三者委員会による評価・提言を活かした指導・助言の実施 ・組織の広域化による、申請事務軽減に向けた、県・市町村・土地連による土地改良区への働きかけ	総コスト	187,860	294,550	1,014,742
農業農村多面的機能支払推進事業	市町村が実施する推進事務の支援		事業費	177,860	284,550	1,004,742
			(うち一般財源)	172,390	259,011	318,868
			人件費	10,000	10,000	10,000
			職員数(人)	1.00	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(31年度)	評価	今後の課題		
								今後の課題		
市町村事務指導数(市町)	目標値	16	16	16			<b>a</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払活動のリーダー(地域のまとめ役)や事務処理実施者の不足</li> <li>・証拠書類整理事務が煩雑</li> <li>・組織設立のための非農家を含めた合意形成の難航</li> </ul>		
	実績値	16	16							
	達成率	100.0%	100.0%							
	市町村説明会開催回数(回)	目標値	1	2	2					
		実績値	1	2						
		達成率	100.0%	100.0%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
実施面積(ha)	目標値	18,000	22,000	22,000	24,800		<b>a</b>	これまで県下665地区において農地や農業用施設の適切な維持管理がなされとともに、共同活動の仕組みができた。また、19年度から25年度に取り組んだ農地・水・環境保全向上対策の活動から優良事例パンフレットを作成し、県民に紹介するとともに、フォーラムを開催することで組織活動の活性化を図るなど、積極的な普及活動を行った。	
	実績値	16,901	20,514						
	達成率	93.9%	93.2%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・土地改良区を中心とした組織に近隣組織を編入することにより広域連携化を推進し申請事務の効率化を推進
- ・協定参加組織の事務処理(証拠書類の整理等)の軽減が図れるよう、説明会等の開催、指導・助言・抽出検査を実施
- ・多面的機能の重要性がわかる優良活動事例等をPRし、非農家の参加を促進

事業名	(公) 港湾環境整備事業	事業期間	平成 9 年度～平成 31 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
		事業実施課(室)名	港湾課	評価者	港湾課長 山本 真哉

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域住民等が港湾や水に親しむことができる緑地等施設の整備率は依然として低い。また、近年は地域住民の環境保全に対する意識が高まっていることから、埋立に際しても環境に配慮した計画が求められている。	事業の目的	港湾区域内の環境を改善し、地域住民等の憩いの場として緑地等施設の整備を行うことで、港に賑わいを生み、地域住民等が港湾とふれあう場を提供する。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------------

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
(公) 港湾環境整備事業	別府港 騒音・振動・泉源調査一式	・認可や繰越等国への手続きに関する事務作業の簡素化	総コスト	72,879	118,404	206,607
			事業費	72,879	118,404	206,607
			(うち一般財源)	2,761	4,647	8,982
			(うち繰越額)	33,100	102,100	
			人件費			
			職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果
	港湾区域内の環境改善及び憩いの場として必要な緑地等施設の整備面積(ha)	実績値	24.5ha	24.5ha			45.5ha	C
	達成率	53.8%	53.8%					
水質浄化及び底質改善のため浚渫土砂の受け入れとして必要な廃棄物埋立護岸の延長(m)	実績値	1,114m	1,114m			1,714m	C	(事業休止中)
	達成率	65.0%	65.0%					

事業名	都市政策推進費		事業期間	平成 16 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	都市計画課	評価者	都市計画課長 湯地 三子弘

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	都市計画区域において①都市中心部の空洞化②人口減少・高齢社会の到来③税収減や公共施設維持管理費の増に起因する財政上の制約などに対応し現在の商業地、居住地等が都市郊外部に広がる「拡散型都市構造」からの脱却が課題となっている。	事業の目的	必要な都市機能が集約し必要なサービスが身近に享受できる「集約型都市構造」への転換を目指し、良好な住環境を維持し改善する。 そのため、都市計画基礎調査を基に都市計画区域マスタープランを適切に見直すことで都市の将来像を明確に示す。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
都市計画基礎調査の実施	都市計画法第6条に基づき、都市計画区域の現状をとらえるとともに、都市計画決定等の基礎資料となる基礎調査を実施 実施箇所 ・中津都市計画区域 ・宇佐都市計画区域 ・豊後高田都市計画区域 委託先：民間コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ収集形式の統一化</li> <li>G I S 化により、複雑多様な分析に対応し各市町での活用を効率化(データの汎用性)</li> <li>データの蓄積のより、県市町間の調査業務の重複をなくし、将来的投資を縮減</li> <li>関係市町と協力し効率的な情報の収集と共有化の推進</li> </ul>	総コスト	24,138	25,909	46,765
			事業費	9,138	10,909	31,765
			(うち一般財源)	9,138	10,909	31,765
			人件費	15,000	15,000	15,000
			職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
都市計画基礎調査の実施(市町村)		目標値	2	5	11	18	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画基礎調査の効率化のため、実施に伴い集約した課題を改善し、実施要領に反映</li> <li>調査項目の妥当性や簡素化について検証</li> </ul>	
		実績値	2	5					
		達成率	100.0%	100.0%					
		目標値							
		実績値							
		達成率							

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
都市計画の変更を行った区域数(区域)		目標値	3	5	6	8	a	都市計画区域マスタープランに基づき、課題箇所である都市計画の変更を完了した。 また、都市計画変更について、長期のスケジュール管理を実施した。 ※成果指標は昨年度と比較して、より単年度で評価対象となりうるものに変更	
		実績値	3	5					
		達成率	100.0%	100.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・「進捗管理票」並びに市町ヒアリングなどにより、良好な住環境の実現に向けて、都市計画区域マスタープランの進捗状況を的確に管理 ・都市計画区域マスタープランの基礎資料となる都市計画基礎調査を確実に実施				

事業名	県営都市公園施設整備事業	事業期間	昭和 63 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
		事業実施課(室)名	公園・生活排水課	評価者	公園・生活排水課長 和田 敏哉

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	県営都市公園は建設から相当の期間が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。しかし利用者の公園に対するニーズは益々高まっており、快適で安全安心に利用できる公園の整備が求められている。	事業の目的	県営都市公園利用者を対象として安全かつ快適に利用できるよう整備する。公園施設の安全性確保や施設の延命化、ライフサイクルコスト削減を目的に策定した『公園施設長寿命化計画』に基づき、更新時期を迎えた公園施設の計画的な更新を実施する。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------	-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
県営都市公園施設整備事業 ・高尾山自然公園 ・大分スポーツ公園 ・ハーモニーパーク ・大洲総合運動公園 (公) 県営都市公園長寿命化対策事業 ・大洲総合運動公園 他(長寿命化)	グラウンドゴルフ場舗装改修、炊飯所屋根改修 他 総合競技場路面標示改修 歩道改修、汚水処理施設ポンプ取替 他 散水設備改修、硬式野球場打起し、フェンス補修 他	・指定管理者から維持改修要望を聞き取った上で優先順位をつけて毎年度見直しを行い改修対象施設を選定 ・長寿命化計画における公園施設の健全度判定により計画的に施設を更新	総コスト	559,689	109,447	169,364
			事業費	559,689	109,447	169,364
			(うち一般財源)	88,323	28,650	31,428
			(うち繰越額)	12,000		27,604
	人件費					
	水泳プール解体・駐車場整備・トイレ改修		職員数(人)			

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果		
		目標値	2,015	2,035	2,035				a	施設の老朽化により、利用者から改修の要望がでていますが、本事業により今後は利用増が見込まれる。 事業初年度である公園施設長寿命化対策事業は、年度内に施設の延命対策の完了に至らなかったが、次年度対策完了の素地ができた。
		実績値	2,288	1,893						
		達成率	113.5%	93.0%						

[成果指標・実績]

(県営都市公園施設整備事業)

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
高尾山自然公園	グラウンドゴルフ場舗装改修	4,253
	炊飯所屋根改修	2,986
	土壌生物調査	1,507
大分スポーツ公園	総合競技場路面標示改修	6,082
	歩道改修	6,804
ハーモニーパーク	駆動水ポンプ補修	1,403
	第2流調攪拌機取替	1,206
	硬式野球場散水設備改修	6,251
大洲総合運動公園	硬式野球場グラウンド打起し	5,076
	硬式野球場バックネット補修	821
	硬式野球場床木タイル改修	652

(県営都市公園長寿命化対策事業)

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
ハーモニーパーク	トイレ改修	1,105
大洲総合運動公園	水泳プール取り壊し	71,301



事業名	県営都市公園里山利活用推進事業		事業期間	平成 26 年度～平成 27 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	公園・生活排水課	評価者	公園・生活排水課長 和田 敏哉

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	大分スポーツ公園には里山が、ハーモニーパークには竹林があるが、県民に利活用されていない。	事業の目的	県営都市公園の里山や竹林を利活用し、県民の自然体験や環境学習等の機会を設け、県民参加による里山や竹林の再生の推進と自然環境保全への意識を醸成する。
-------	----------------------------------------------	-------	---------------------------------------------------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
委託団体の公募	委託団体の公募を県担当が広報(30団体に郵送、県HPほか4HPに掲載)	・NPO情報バンクおんぼで検索した団体に資料郵送 ・HP掲載は、県、森林づくりボランティア支援センターHP、森林ネットおおいたHP、ぼらのNetHP、おんぼHP ・参加者募集広報及び参加者への意識調査も委託内容に含めて受託団体が実施	総コスト		4,285	4,997
自然体験や環境学習の活動の実施	活動の企画・運営を受託団体が実施(大分スポーツ公園 年2回実施 各回100人程度の活動)(ハーモニーパーク 年2回実施 各回 50人程度の活動)		事業費		2,285	2,997
			(うち一般財源)			
			人件費		2,000	2,000
			職員数(人)		0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
活動指標	大分スポーツ公園年2回 申込総数(人)	目標値		200	400		a	・2公園年2回の申込総数は定員300人に対して、実績値489人と定員を大きく上回ったことから、27年度は規模を拡大して定員増の予定 ・但し、大分スポーツ公園第1回目については、広報不十分で定員100人に対し27人しか申込がなかったため、2回目は大分市内の全小学校へ参加募集チラシを配布したところ238人申込有	
		実績値		265					
		達成率		132.5%					
	ハーモニーパーク年2回 申込総数(人)	目標値		100	200				
		実績値		224					
		達成率		224.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	大分スポーツ公園年2回 参加人数(人)	目標値		200	400		c	参加者への意識調査から、2公園各2回全てにおいて、満足度が高く、また参加したいがほとんどであった。 ハーモニーパークの第2回目(定員50人)が雨天開催であったため、当日のキャンセルが多く、参加者は13人と少なかった。	
		実績値		152					
		達成率		76.0%					
	ハーモニーパーク年2回 参加人数(人)	目標値		100	200				
		実績値		65					
		達成率		65.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込総数が定員を大きく上回ったことから、来年度は定員を増やし規模拡大</li> <li>・受託団体によっては広報に慣れないこともあるので、広報内容については適切な助言が必要</li> <li>・活動日が雨天の場合に当日不参加が多かったことから、予備日の設定等対策が必要</li> </ul>				